

# 電気プラグ・コードの取り扱いによる火災発生について

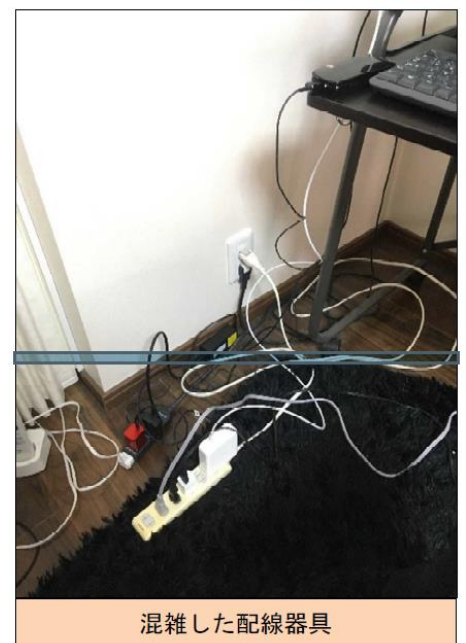
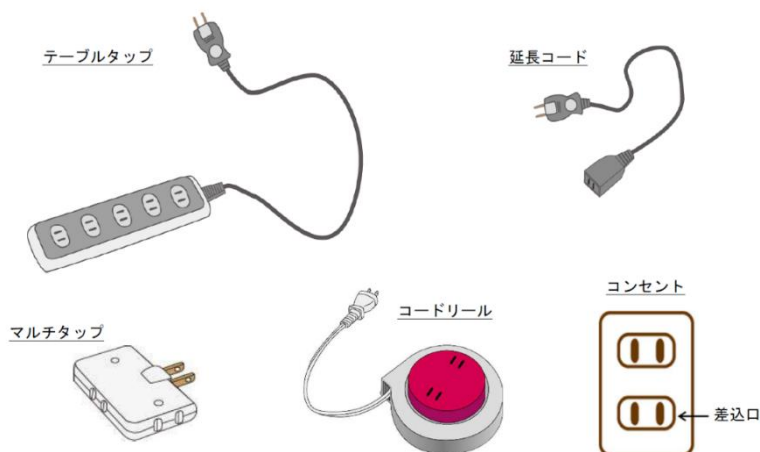
全国的にテーブルタップ・延長コードなどによる火災が毎年発生しております。

さらに今年は、新型コロナウイルスの影響により在宅勤務を行うことが増え、PC等の電源確保のためにたこ足配線などの常態化がさらに懸念されるます。

これらの火災の原因として、ほこり、水分の付着によるトラッキング現象（※）やコードに無理な力が加わり、断線してショートすることが考えられます。

本格的な冬を迎え、火災が多発する時期となりますので、ぜひ年末の大掃除等の際に、配線器具や配線状況を点検し、破損などがあれば取り換えなどをして火災予防に努めていただきますようお願いいたします。

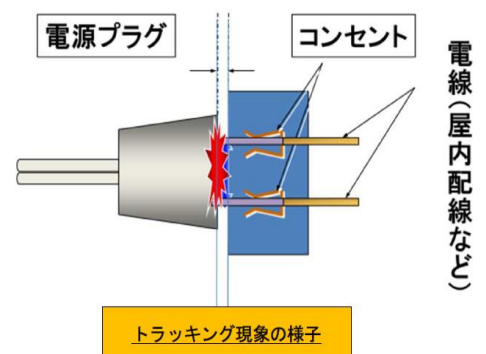
## 【プラグ・コードの例】



## 【トラッキング現象について】（※）

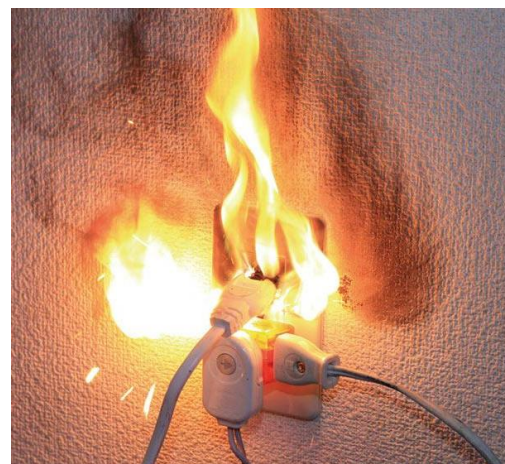
コンセントや延長コード、テーブルタップなどに電源プラグを長時間差し込んだままにしていると、コンセントや電源プラグの周囲、隙間にほこりや湿気等による水分が付着します。

付着したほこり、水分によって電源プラグ栓刃の間に微弱な電流が流れる状態となり、火花放電を繰り返すことによって電源プラグの樹脂部分が徐々に炭化していき、トラック（電気の通り道）が形成されて異常発熱して、発火へと至る現象をいいます。



## 【火災事例】

- ペットの尿がテーブルタップ内に侵入し、トラッキング現象が生じて製品及びその周辺を焼損した。
- コンセントへの抜き差しや、使用中の引っ張りなどで掃除機の電源プラグを傷つけたため、接触不良となり、動作時に異常発熱して出火に至った。
- コードリールに接続可能な最大消費電力を超える電気製品（ふとん乾燥機複数台）を接続していたため、コードリールの電源コードが異常発熱し、建物を半焼する火災が発生した。



## 【火災を防ぐポイント】

- 電源プラグがしっかり差し込む。また電源プラグや差込口などにほこりがたまっていないか確認し、掃除をする。
- テーブルタップやコンセントと電源プラグの接続部分に水分が付着しないよう注意する。アルコール消毒液も侵入すればショートやトラッキング現象を引き起こすおそれがあるので、接続部分にかからないように注意する。
- 電源コードを引っ張る、机や椅子の脚で踏むなど、無理な力を加えない。
- 接続可能な最大消費電力を確認し、これを超えるような使用をしない。
- 異臭や変色など、事故の予兆を見逃さない。



## 【リンク】

N I T E 独立行政法人製品評価技術基盤機構

<https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/press/2020fy/prs201224.html>

ご不明な点は最寄りの消防署にお問い合わせください。



各消防署の[連絡先・アクセス](#)は

こちらをクリック！！